

北海道大学と三菱 UFJ 信託銀行が共同研究を開始

～GX 金融・資産運用特区から、科学的知見に基づくトランジション技術評価を推進～

【概要】

三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長：窪田 博、以下 三菱 UFJ 信託銀行）と北海道大学グリーン・トランスフォーメーション先導研究センター（センター長：幅崎浩樹、以下 GX 先導研究センター）は、2025 年 10 月 1 日より、「企業のトランジション技術の評価に関する共同研究」を開始しました。

この共同研究は、GX 金融・資産運用特区に指定された北海道・札幌市から、産学連携によって GX 金融と GX 技術を橋渡しする先駆的な取り組みです。

【プロジェクト開始に至った経緯】

日本政府は 2020 年に「2050 年カーボンニュートラル宣言」を行いました。2023 年には「GX 推進法」が成立しました。この法律の正式名称が「脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律」であるように、移行（トランジション）に着目し、トランジション・ファイナンスに関する市場整備が進められ、温室効果ガス多排出産業を中心に「トランジション技術」の導入を後押ししています。

北海道・札幌市は GX 金融・資産運用特区に指定され、GX 産業の集積とそれを支える金融機能の強化が期待されています。

三菱 UFJ 信託銀行は、サステナブル投資の推進を通じて、環境・社会課題の解決に取り組んできました。今回の共同研究を通じて、科学的知見と金融の視点を融合させ、受託者責任の下、持続可能な成長と企業価値の向上、さらにはサステナブルな未来の実現に向けて、お客様及び社会への貢献を一層強化していきます。

北海道大学は 2025 年 4 月に GX 先導研究センターを設立し、再生可能エネルギー、水素、CCUS、バイオマス、次世代蓄電池等幅広い分野の研究者 84 名を結集し、卓越研究と社会実装を推進しています。今回の取り組みは、同センターにおける初の本格的な産学連携研究となります。

【内容・対象・意義】

本研究では、脱炭素社会の実現に必要なトランジション技術の研究開発の状況や実用化の見込みについて調査・研究するとともに、トランジションスコア開発手法の検討を行います。これにより、トランジションへの支援を通じて投資先企業の持続的成長をサポートし、GX 金融・資産運用特区から日本全体の GX 推進に貢献します。

これにより、下記のことが進むことが期待されます。

- ・金融機関が企業の GX 戦略を正確に理解し、投資家に提供する情報基盤を形成
- ・投資家は科学的根拠に基づく投資判断により GX 投資を活発化
- ・GHG 多排出産業はトランジション技術を円滑に導入
- ・投資家と企業の対話により、健全なインベストメントチェーンを構築

【共同研究期間】

2025 年 10 月 1 日から 2 年間

お問い合わせ先

北海道大学グリーントランスフォーメーション先導研究センター

学術専門職 平井計浩（ひらいかずひろ）

T E L 011-706-6741 F A X 011-706-7589 メール gxc_office@eng.hokudai.ac.jp

U R L <https://hu-gxc.eng.hokudai.ac.jp/>

北海道大学サステナビリティ推進機構 教授 加藤 悟（かとうさとる）

T E L 011-706-4608 F A X 011-706-4884 メール sdg@facility.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.sustainability.hokudai.ac.jp/>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp